

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	大事業	14. 収納方法拡大事業
項	2. 徴税費	中事業	
目	2. 賦課徴収費	担当所属	債権管理課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額			
臨時	単独	計画	0	0	18,166		第5章 基本施策5 施策3	市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち (市民参加・自治体運営)	56,457	
							行財政運営	令和3年度	0	
							税の公平、公正、効率的賦課と収入率向上を目指します	令和4年度	18,819	
								令和5年度	18,819	
								令和6年度	18,819	
								令和7年度	0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		18,819

財源内訳									一般財源
本年度当初要求額									0
本年度当初査定額									18,819

<事業に関する説明>

(事業の概要) 金融機関等の窓口納付・口座振替納付・コンビニエンスストア納付・スマートフォン決済等の様々な収納データについて、的確にデータ処理を行います。	(事業の目的) ・納税手段の拡大により納税者の利便性を向上させます。 ・市税収納データの適正な管理を行います。	(事業の効果) ・納税し易い環境を整えることで市税の納期ごとの安定した収入を確保し安定した財政運営を確保することができます。 ・金融機関等の窓口収納データの正確かつ迅速な処理が実現され、過誤納金処理など収納後の処理を合理的に進めることができます。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) コンビニエンスストア収納、スマートフォン決済は、金融機関窓口で納付した場合よりコストがかかり、密回避等の理由により、利用件数についてコロナ禍の影響を受けやすい。

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
12	18,819	18,819	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	18,819	0